

1. 次世代育成支援行動計画(後期計画)推進事業の実施状況一覧

<評価> ◎=できている ○=ほぼできている △=余りできていない ×=できていない

事業名	方向性	計画策定時の実績(H20年度)	実施状況(実績)					評価	決算額(千円)	問題点・対応等	所管課
			H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H25年度において行った拡充、見直し・改善等の内容及び特記事項等				
2章 子どもの生きる力の育成											
1節 確かな学力の向上											
42101 学校サポートにしのみや「ささえ」【重点】	拡充	実施率100% ささえ登録者数8,726人	100% 7,070人	100% 7,277人	100% 7,661人	100% 7,676人	◎ 全校園で実施されている。「地域の子供は地域で育てる」という風土が根付き、ボランティアの方も子どもたちと接し、その成長に関われることに「やりがい」を感じている。また、学校で支援が必要なときにすぐ対応でき、保護者、地域の方々と連携を深めることができる。	17,567	共働き家庭が増加し、ボランティアが集まりにくくなっている学校園がある。保護者や地域の会合をおして、広く発信をしていく必要がある。	学校教育課	
42102 漢字・計算認定制度	見直し・改善	認定証発行人数 漢字読み9,338人 計算7,376人	(漢字)5,864人 (計算)7,736人	(漢字)1,959人 (計算)6,335人	(漢字)2,675人 (計算)3,889人	(漢字)1,027人 (計算)472人	△ EduNet保守拡充・学習コンテンツについては、H25年度より学校情報システム課に移管。 認定証の発行数が減少している。	— (情報教育の推進を含む)	システムの更新等によって学級で実施することが難しくなったことが影響している可能性がある。認定証の発行数が減少した理由を明らかにし、必要な対応を検討する。	学校教育課	
42103 西宮型小中一貫教育【重点】	拡充	(H21年度新規事業)	準備委員会7回 研究委員会4回	(準備)5回 (研究)3回	(研究)2回 (担当者会)1回	(担当者会)1回	◎ H25年度より全市的な実施になった。小中一貫ブロックで3本柱(教科等指導・人権教育・生徒指導)について情報共有し、+1(今ある「しくみ」の活用)の独自の取組みを各ブロックで展開した。	—	各ブロックで順調に進行しているが、ブロック間、学校間、職員間の意識と取組みの差を埋めていく必要がある。	学校教育課	
42104 地域に学ぶ「トライやる・ウィーク」推進事業【重点】	継続	実施校数 中学20校 特別支援1校	中学20校 特別支援1校	中学20校 特別支援1校	中学20校 特別支援1校	中学20校 特別支援1校	◎ 受入れ先や地域の方に事業の趣旨や内容への理解を広げ、生徒の受入れがより進むようリーフレットを作成した。	18,634	生徒の受入れ先の確保のために、事業の趣旨の理解を一層進めていく必要がある。	学校教育課	
42105 「学びの指導員」配置事業	見直し・改善	配置時間 6,540時間	4,533時間	4,528時間	9,999時間	10,109時間	◎ 配置校を1校増やし、58校とした。	10,109	各校で十分に活用されている。	学校教育課	
42106 科学教育の推進(理科・生活科作品展など)	継続	作品展等来場者・参加者数 3,333人	理科生活科作品展等 3,918人	4,176人	3,648人	3,688人	◎ 前年に引き続きスポットクーラーレンタル等、一定の暑さ対策を行い、また、来場者アンケートをもとに、終了時刻を1時間延長した。	822	開催時間の延長等の取組みもあり、来場者数が若干ながらも増加してきている。	教育研修課	

1. 次世代育成支援行動計画(後期計画)推進事業の実施状況一覧

<評価> ◎=できている ○=ほぼできている △=余りできていない ×=できていない

事業名	方向性	計画策定時の実績(H20年度)	実施状況(実績)					評価	決算額(千円)	問題点・対応等	所管課
			H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H25年度において行った拡充、見直し・改善等の内容及び特記事項等				
42107 国際理解教育の推進	継続	外国人指導助手8人配置	8人	11人	12人	小学校指導は12人(右記の決算額は中高を含む29人分)	小中一貫英語教育研究委員会を立ち上げ、「小学校外国語活動指導案集」の改訂を行った。	○	71,253	小学校教員に対して、外国人指導助手との授業の進め方についての研修会や話し合いの場を積極的に設け、教員の理解を継続して深めていく必要がある。	学校教育課
42108 西宮湯川記念こども科学教室	継続	参加人数1,971人	2,839人	2,996人	2,559人	2,219人	①初日の開始時間の前倒し(12時→11時) ②使用する部屋数を1増(会場スペースの充実のため)	○	843	現在は総合教育センターを実施会場としているが、平成26年5月末に所管課所在地が総合教育センターからフレンテ西宮に移転するため、実施会場の変更も含めた再検討が必要。	大学・生涯学習推進課
42109 ライフサイエンスセミナー 高校生対象講座	継続	実施対象高校数1校	2校	2校	2校	2校		○	131	高校生対象講座を通して生まれた興味・関心を、一般市民対象のライフサイエンスセミナー受講につなげるようなPRが課題となる。	大学・生涯学習推進課
42110 学習促進等委託事業	見直し・改善	(H22年度新規追加事業)	参加延人数200人	261人	302人	311人	事業の委託先の構成団体である、小・中学校父母の会で合同事業を行うことにより、地域の保護者間の交流につながっている。	○	450	委託先の構成団体である父母の会において、担い手の確保が年々難しくなっており、地域において担い手を育てる環境整備が必要である。	若竹生活文化会館
2節 豊かな心と健やかな体の育成											
42201 学校体育指導力の向上	継続	研修回数 担当者会 2回 実技研修会 3回	(担当者) 2回 (実技) 3回	(担当者) 2回 (実技) 3回	(担当者) 2回 (実技) 3回	(担当者) 2回 (実技) 3回		◎	49	充実した内容で実施されている。	学校教育課
42202 市内学校体育大会の充実	継続	実施回数 年1回	年1回	年1回	年1回	年1回	総合体育大会での看護師派遣を業者委託により行うこととした。	◎	1,542	小学校の学習指導要領にバスケットボールが示されたことで、普及のために立ち上げられたバスケットボール交流大会は、すでにその役割は達成されたため、実施の仕方を検討する必要がある。	学校教育課

1. 次世代育成支援行動計画(後期計画)推進事業の実施状況一覧

<評価> ◎=できている ○=ほぼできている △=余りできていない ×=できていない

事業名	方向性	計画策定時の実績(H20年度)	実施状況(実績)					H25年度において行った拡充、見直し・改善等の内容及び特記事項等	評価	決算額(千円)	問題点・対応等	所管課	
			H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H25年度			H25年度			
42203 文化的、体育的行事の実施	継続	実施回数 各年1回	各年1回	各年1回	各年1回	各年1回	各年1回	「中学生の主張」大会の学校代表者の紹興市派遣は、社会情勢悪化により当分の間、見送る。	◎	児童・生徒に様々な活動の場を提供できている。	—	小学校合同音楽会の参加人数増加に伴い、会場の容量、輸送方法、予算について検討が必要である。	学校教育課
42204 学校園の定期健康診断	拡充	定期健康診断(内科)受診率: 99.3%	99.4%	99.4%	99.5%	99.2%	心臓検診は心臓判定委員会で精検の要否を判定するなど、きめ細かい心臓検診を実施してきた。また、腎臓検診、脊柱検診においても西宮独自の精密検診のシステムで教育委員会と学校がともに充実した検診を実施した。	◎	定期健康診断の欠席者については欠席者健診、各種健康相談の機会を捉え未受診者が健診を受けられるよう配慮をした。また、尿検査や心電図検査は、他校の回収日や検診日を活用し、欠席者が受検できるよう配慮をした。ただし、耳鼻科健診、眼科健診においては学校医が複数校園を兼ねているため、欠席者健診や健康相談を1学期中に開くことは難しい。	50,188	従来から、小・中学校1年生に心音心電図検査、高校1年生に心電図検査を実施し、心臓判定委員会で精検の要否を判定するなど、きめ細かい心臓検診を実施してきた。しかし、思春期の身体の変化と運動量が一気に増える中学校までの6年間の検診の必要性を専門医より指摘され、小学校4年生を対象とした心臓検診の実施を進めていく方向で協議を行う。	学校保健安全課	
42205 自然体験活動の推進	継続	実施校数 小学校42校 中学校12校	小学校40校 中学校7校	小学校40校 中学校7校	小学校40校 中学校7校	小学校40校 中学校7校	中学校での泊を伴わない体験活動についても、交通費の市費負担補助が可能となった。	◎	計画どおり実施されている。	82,597	指導補助員の急な加配が必要になることがあり、ある程度の予備費を確保しておく必要がある。	学校教育課	
42206 人権に関する各種研修会の実施	継続	開催回数 45回	49回	49回	50回	50回	小学校の人権教育の共通教材一覧表を作成し、暫定版を完成した。中学校についても作成の方向で検討していく。	◎	計画どおり実施されている。	386	様々な人権課題解消に向けた学習内容について、どの学校でも必ず取り組む共通教材の必要性を考え、左記の一覧表を作成した。校種により時程が異なるため、授業・保育公開への参加が難しく、地区別研修会の時間設定を工夫・検討する必要がある。	学校教育課	
42207 生活実態調査に基づく指導(学校保健委員会)	拡充	学校保健委員会 設置率 98.4% 開催率 88.9%	設置 98.4% 開催 88.7%	設置 100% 開催 88.8%	設置 100% 開催 100%	設置100% 開催95.2%	学校保健担当者にあって、学校保健委員会が行う研究事業や取組みについて周知を行った。	○	学校保健の推進及び学校安全の推進を図るため、あらゆる機会において、学校保健委員会の取組みについて提言してきたことで、100%設置・95%以上の開催となっている。	140	学校保健委員会の取組みのなかに、子どもの健康に関する研修があるが、専門医による研修の実施についての要望があるため、予算の拡充等の検討が必要である。	学校保健安全課	

1. 次世代育成支援行動計画(後期計画)推進事業の実施状況一覧

<評価> ◎=できている ○=ほぼできている △=余りできていない ×=できていない

事業名	方向性	計画策定時の実績 (H20年度)	実施状況(実績)					評価	決算額 (千円)	問題点・対応等	所管課	
			H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H25年度において行った拡充、 見直し・改善等の内容及び特記 事項等					
3節 信頼される学校づくり												
42301 学校評価 【重点】	継続	結果公表 100%	100%	100%	100%	100%		◎ 全校で実施されている。	—		学校教育課	
42302 教育連携協議会の活用 【重点】	事業 終了	(H21年度 新規事業)	小・中60校	(H23年度 廃止)	—	—	—	—	—	【廃止の理由】 教育連携協議会を充実し、地域の教育力の活性化を図るため、地域住民が学校の教育活動を支援する「教育連携事業」に一本化。	学校教育課	
42303 教職員研修の充実	拡充	研修実施回数 169回	(専門)97回 (職務)99回	(専門)99回 (職務)73回	(専門)76回 (職務)82回	(専門)81回 (職務)82回	研修申し込みシステムが25年5月より稼動した。	◎	前年度に引き続き、職員研修、専門研修で系統立てた研修を行うことができた。研修申し込みシステムも学校現場へ定着しつつある。	6,298	各教員の研修履歴を簡易に検索できるシステムの構築が必要である。	教育研修課
42304 教育連携事業	継続	(H23年度 新規追加 事業)	—	教育連携協議会の年間 平均開催 回数 4.9回	教育連携協議会の年間 平均開催 回数 3.0回	教育連携協議会の年間 平均開催 回数 3.6回	各連携協議会の取組みの参考とするため、地域が参画する学校づくり事業を実施。情報の共有化を図るため、12校による事業の事例発表・意見交換会を行い、更なる事業の充実に繋げるための取り組みを行った。	◎	各学校に設置した教育連携協議会を中心とし、学校・家庭・地域がそれぞれの課題を共有し課題解決のための取り組みを行っている。	11,370	学校や地域が多忙の中で、地域が中心となった教育連携協議会の運営のための具体策を示す必要がある。国の補助を受け実施している事業となり、国の要綱改正や予算面などで運営・歳入が左右される部分があり、市の予算編成や各学校の教育連携協議会の事業運営に大きな影響を及ぼす可能性がある。国の補助対象事業の期間に、国の補助金に依存しない事業のあり方を検討する必要がある。	社会教育課 学校教育課

1. 次世代育成支援行動計画(後期計画)推進事業の実施状況一覧

<評価> ◎=できている ○=ほぼできている △=余りできていない ×=できていない

事業名	方向性	計画策定時の実績(H20年度)	実施状況(実績)				H25年度において行った拡充、見直し・改善等の内容及び特記事項等	評価	決算額(千円)	問題点・対応等	所管課	
			H22年度	H23年度	H24年度	H25年度						
4節 教育環境の整備												
42401 情報教育の推進 【重点】	拡充	活用した学校数 65校 学校での活用率 100%	63校 100%	63校 100%	63校 100%	63校 100%	H25年度より小学校にもデジタル教科書が導入された。「漢字・計算」認定事業、学校園CMS以外のEdunetに関することは、学校情報システム課に移管。	○	指導用デジタル教科書を活用するための研修や研究授業が実施され、多くの学校で実践された。	5,206	「EduNet」のコンテンツ内容をさらに利用しやすいものに更新していく。さらなる活用の充実のためには、国の教育振興基本計画等に示されている協働型・双方向の学びの実現に向け、タブレットPCや無線LAN環境の充実等が必要である。中でも中学校普通教室および小中学校の特別教室の電子黒板等大型提示機器の充実が急がれる。	学校情報システム課 学校教育課 教育研修課
42402 防災教育の推進	継続	避難訓練実施校数 小・中・高・特別支援 65校	小・中・高・特別支援 63校	小・中・高・特別支援 63校	小・中・高・特別支援 63校	小・中・高・特別支援 63校	地域防災啓発課より津波対策の指導資料(パワーポイント)を提供され、学校で使用するよう依頼した。	◎	計画どおり実施できている。	—	震災20年を迎えるにあたり、再度、防災・減災意識を高め、災害状況を具体的に想定した訓練を取り入れる。	学校教育課
42403 学校の安全・安心対策事業	継続	校門警備員配置率 100%	100%	100%	100%	100%	警備員を全小学校及び特別支援学校に配備した。	◎	警備員を全小学校及び特別支援学校に配備しているため	57,544	引き続き、警備員を全小学校及び特別支援学校に配備する。	学校管理課
42404 小・中学校のエレベーター設置 【重点】	拡充	EV設置率 小学 42.9% 中学 65%	小学 58% 中学 70%	小学 63% 中学 75%	小学 68% 中学 85%	小学 75% 中学 85%	25年度小学校3校にエレベーターを設置した。	○	年次計画通りエレベーター設置を行っているが、設置率は約78%である。	129,081	出来る限り早い時期のエレベーター100%設置に向け、事業を進めていく。	学校管理課
42405 小・中学校の整備 【重点】	継続	改築校数 完了 1校 継続 3校	完了 2校 継続 2校	完了 1校 継続 1校	継続 4校	完了 1校 継続 3校	夙川小学校校舎改築事業が完了し、第46小学校新設事業、上甲子園小学校及び南甲子園小学校校舎等増改築事業の設計業務に着	◎	2校の改築事業と1校の新築事業について順調に事業を進めているため。	3,117,139	多くの校舎について、老朽化が進んでおり、計画的に改築を進めていく必要がある。	学校施設計画課
5節 幼児教育の充実												
42501 私立幼稚園就園奨励助成【重点】	拡充	助成人数 5,949人	5,965人	5,869人	5,901人	5,904人	公私間格差是正を図るため、市単独事業費で国の基準に上乗せして支給する金額を増額した。	◎	国の基準に上乗せして助成金額を増額したことにより、保護者の経済的負担の軽減に努めた。	663,571	子ども・子育て支援新制度の施設型給付となる私立・公立幼稚園の利用者負担を勘案し、保護者負担の格差は正について検討する。	学事課
42502 4歳児ランド	見直し・改善	会場数 4箇所 参加人数 37人	2箇所 16人	4箇所 60人	3箇所 30人	3箇所 39人	前年度募集実績を元に実施箇所3箇所で開催を行った。	◎	実施箇所数を応募者数に応じて見直している	1,521	応募者数を的確に予測し、会場数と場所を判断する必要がある	学校改革課